



日高町商工会青年部・日高町役場青年女性部協働事業

日高町へ活気を取り戻す

10月11日、日高町商工会青年部・日高町役場青年女性部により、商工会庁舎・役場庁舎周辺や門別本町市街の清掃活動が行われました。

この活動は、新型コロナウイルスによってイベント等が中止になっている現在、日高町商工会青年部・日高町役場青年女性部が「日高町へ活気を取り戻す」という願いを込め、協働で行っている事業の一環で、2組織13名が参加し、ゴミ拾いをするなどとてもきれいに清掃してくださいました。



もんべつ児童館

さつまいもの収穫

10月7日、社会福祉協議会裏庭の花壇において、もんべつ児童館の子ども達がさつまいもの収穫を行いました。

さつまいもは5月に社会福祉協議会で植えたもので、真っ赤に大きく成長したさつまいもを、子ども達は土まみれになりながらおはしゃぎで掘り上げていました。

収穫したさつまいもは、11月に茶菓子等に調理してみんなでいただく予定です。



富川二葉・門別わかば・厚賀すずらん保育所

三保育所合同社会見学

10月12日、富川二葉保育所、門別わかば保育所、厚賀すずらん保育所の年長児による「社会見学」が行われました。

例年、町外の施設を見学していましたが、今年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、日高地区にある「国立日高青少年自然の家」を見学させていただきました。

子どもたちは、施設内にある「ひだか冒険の森」の中で紅葉を見ながら、アスレチックで遊び、午後からは記念の缶バッジを作るなど、楽しい時間を過ごしました。



北海道行政書士会日高支部創立60周年記念事業

町へ幼児用図書を贈呈

10月26日、北海道行政書士会日高支部(菊地淳史支部長)より、創立60周年を記念して「幼児用図書」80冊を贈呈いただきました。

同会からは、「子ども時代の読書は、生涯にわたる読書習慣の元となる大切な経験になるものとして、コロナ禍の状況で、子どもたちの情操向上に役立てていただきたい」との意向が伝えられました。

贈呈いただいた図書は、町内の各保育所、幼稚園へ配布する予定です。



今年もたくさんの応援ありがとうございました！

ホッカイドウ競馬2020シーズン終了

今年のホッカイドウ競馬は、新型コロナウイルス感染症対策として、10月29日までの開催を無観客競馬として実施していましたが、11月3日～5日の3日間は入場者数を各日50組100名に制限のうえ、観客の入場が再開され、場内では久々に歓声があがっていました。

今年最後のレースとなった「第63回道営記念」では1番人気のクインズサターン号が2着ルールソヴァール号に3馬身差をつけて優勝しました。

クインズサターン号に騎乗していた落合玄太騎手は、デビューから3年目にしてホッカイドウ競馬最大のレース、道営記念(H1)で1番人気の重圧をはねのけ見事勝利しました。



地震の時は・・・「ダック!!」



～カードにあわせてポーズをとろう!～

富川消防署と日高消防団（女性消防団員7名）は、9月24日は富川ひばり幼稚園、10月5日は厚賀すずらん保育所、10月12日はあつが幼稚園で、幼児向け防火・防災カードゲーム「ぼうさいダック」を実施しました。

「ぼうさいダック」は、子供たちが体を動かし声をだして遊びながら、防災や挨拶などについて学び、安心・安全の「最初の一步（ファーストムーブ）」を身につけるゲームです。

今年は6つの体験ブースを設置して行う「防災体験」を実施しました。

横断歩道の渡り方、挨拶・地震・津波・台風・火災の時の対応に関連した音を交えて色んなポーズを取りながら学びました。

子供たちは普段あまり見ることのない煙に興味津々な様子で、怖がりながらも「たぬきのポーズ」をとりながら煙の中を通りました。

また、消防のマスコットキャラクターの「消太くん」と一緒に楽しくゲームに参加し、3日間とも笑顔いっぱいの日となりました。

富川ひばり幼稚園



厚賀すずらん保育所



あつが幼稚園



地震の時は「アヒル」のポーズ



道路を渡る時は「ねずみ」のポーズ



火事の際は「たぬき」のポーズ

